

## 原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について ( 2026年7月 検針分 )

2026年2月～2026年4月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。  
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2026年7月 検針分の単位料金は、2026年6月 検針分 に比べて、1m<sup>3</sup>(45MJ)当り  
0.83 円(消費税込)、標準家庭(26m<sup>3</sup>)では月額 22 円の調整を行うこととなりました。

### ●一般ガス供給約款料金における調整単位料金

(消費税込)

	単位	(A) 2026年6月	(B) 2026年7月	(B)-(A)
A料金表 (0m <sup>3</sup> ～24m <sup>3</sup> )	円/m <sup>3</sup>	260.81	261.64	0.83
B料金表 (24m <sup>3</sup> を超える)	円/m <sup>3</sup>	201.75	202.58	0.83

### ●平均原料価格

	単位	2026年1月 ～ 2026年3月	2026年2月 ～ 2026年4月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	87,000	87,440	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	88,310	98,230	
平均原料価格	円/トン	87,440	88,360	46,100

平均原料価格 = LNG平均価格 × 0.9541 + LPG平均価格 × 0.0502

(10円未満端数四捨五入)

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \quad (\text{平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき}) \\ &= 88,360 - 46,100 = 42,200 \text{ 円/トン} \\ &\quad (100円未満端数切捨て) \end{aligned}$$

### ●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金 = 基準単位料金 + 0.084 × 原料価格変動額 ÷ 100円 × (1 + 消費税率) (小数点第3位以下の端数切捨て)

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2026年7月 検針分 調整単位料金	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0m <sup>3</sup> ～24m <sup>3</sup> )	円/m <sup>3</sup>	222.65	261.64	38.99
B料金表 (24m <sup>3</sup> を超える)	円/m <sup>3</sup>	163.59	202.58	38.99

### ●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(m <sup>3</sup> )	(A) 2026年6月	(B) 2026年7月	影響額 (B)-(A)
26	7,416	7,438	22

計算式・・・基本料金(税込) + 調整単位料金(税込) × 使用量 (1円未満の端数は切り捨て)